# 46年ぶりの5連覇を目指して
# 第64回上南戦
## 7月7～9日上智大学で開催

第64回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会（上南戦）が7月7日から9日にかけて開催される。同じカトリック大学で名古屋にある南山大学と、互いの大学を会場にして対抗試合や文化系団体の交流を行うもので、今年は本学が主催校となる。

上南戦実行委員会委員長の吉野すみれさん（国教3）に意気込みを聞いた。

**▼今年のスローガンは**

「Fly High」です。選手は向上心を持って限界突破を目指し、応援者は天まで届くほど声を上げる。脱コロナの動きが加速する社会情勢を受けて、より高い目標に向かっていってほしいという気持ちを込めました。

**▼第60回大会以来のホーム開催です**

一昨年の第62回大会は中止。実行委員会に一人もホーム開催経験者がいない中での準備に苦労しました。昨年の開催校であった南山大学の執行委員から話を聞いたり、学生センターの職員の方々と過去の資料を調べたりして、皆で知恵を出し合いました。

また、体育会系団体以外にも上南戦を知ってもらうことを目標に、広報活動にも力を入れています。卒業生が集まるオールソフィアンの集いでの上南戦グッズ予約販売をはじめ、今年は東京地区の地域懇談会と本戦の日程が重なっていることから、学生の保証人などが当日気軽に立ち寄れるように、9号館地下アクティブ・コモンズで「ミュージックフェス」を文化系団体と協働で開催予定です。さらに、TFT Sophiaとともに学食でコラボメニューの提供も企画中。今まで上南戦と縁がなかった人にも関心を持ってもらいたいです。

**▼所属する硬式庭球部の試合の見所と上南戦への抱負を教えてください**

昨年硬式庭球部の試合は最終日で、大会の勝敗がかかった試合の一つでした。多くの仲間が応援に来てくれて熱気に包まれた光景は、今も覚えています。今年も試合は最終日。熱気も応援も昨年を上回る試合を魅せていきたいです。

接戦のうえに掴み取った4回連続優勝の記録を更新するために、皆一丸となって頑張っています。皆様応援よろしくお願いします。

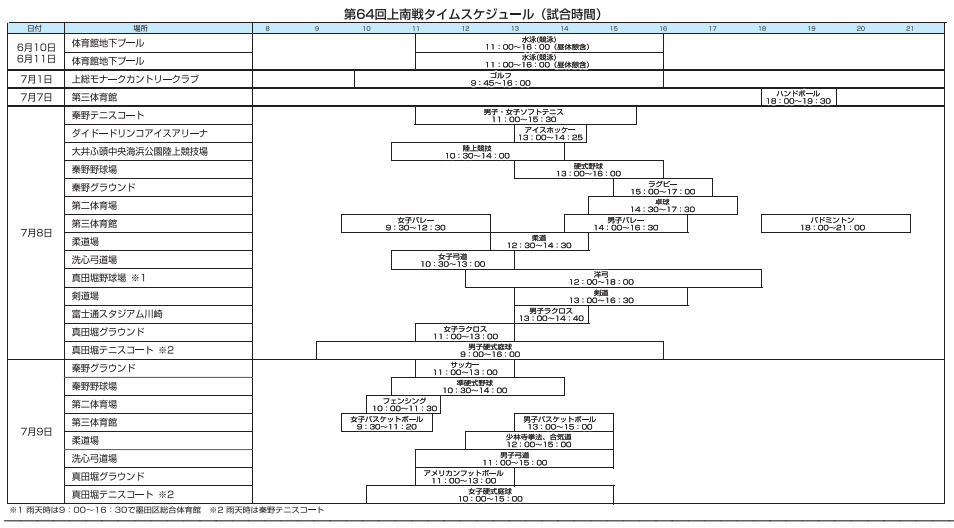
□□□

最新の情報は上南戦WEBサイトを参照。

第64回上南戦チラシ

実行委員長の吉野すみれさん

第64回上智大学総合対抗運動競技大会（上南戦）



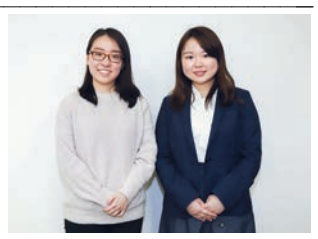
第60回（2019年）大会開会式の様子

「アフリカWeeks」学生代表インタビュー

# アフリカの魅力を共有する機会に

## 多数の企画に参画し学生の力を発揮

アフリカWeeksでは、今年度も学生有志によるさまざまな企画が行われた。公募で集まった学生25人が運営を担当。代表の太田萌々さん（法4）と長澤里桜さん（総グ2）に話を聞いた。


太田萌々さん（右）と長澤里桜さん

**▼運営に応募した理由は**

（太田）アフリカに興味を持ったのは、中学生の時にウガンダで医療活動をしている知人から話を聞いたことがきっかけ。大学入学後は授業などを通し、さまざまな観点からアフリカを見ることができるようになりました。学生最後の年なので、少しでもアフリカへの学びを増やし、学生が大学企画に関わることができる貴重な機会に関わりたいと応募しました。

（長澤）アフリカ地域には大学入学前から関心を寄せていました。アフリカの授業を多く履修し、アフリカと日本をつなぐ学生団体の代表を務める他、アフリカに渡航したりと学外でもアフリカと接する機会を多く持っています。今まで見てきたこと、感じたことを皆さんと共有したいと思いました。

**▼今回の企画で一番こだわった点は**

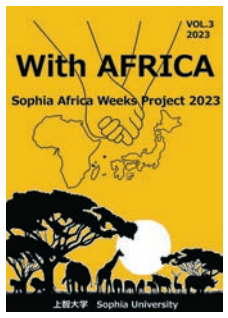
（太田）アフリカの明るく潜在力にあふれた魅力的な側面を、より多くの人に知ってもらいたいという思いをメンバーで共有。今まで学びを深めてきた人も、初めてアフリカに触れる人も、いろいろな人が何かしらの有意義な時間を過ごせる企画にすることにこだわりました。

（長澤）これがアフリカだという固定的な視点で見ていただくのではなく、皆さんが自由にアフリカを感じられるように企画することを心がけました。運営側と参加者の双方が、アフリカWeeksにそれぞれが思うアフリカを重ねることができるよう工夫しました。

**▼将来の夢や目標は**

（太田）ビジネスの側面から、日本とアフリカが相互発展できる関係を構築したい。まずは国際機関や民間企業、NPO・NGOといったあらゆるアクターをつなぐ仕組みを作りたいです。

（長澤）国際協力という分野において、日本とアフリカの双方が接する場で活動したい。協力に関わるそれぞれのアクターをコーディネートすることを通して私が思う協力関係を実現させたいです。



学生発行の雑誌

# 6月26～30日 留学フェア開催

## 最新の留学情報を提供

グローバル教育センターでは、6月26日から30日までの間、留学フェアを開催する。渡航制限が緩和された状況下で、新入生だけでなく、これまで留学できなかった在学生も含め留学を考えるすべての学生に、大学の留学制度を分かりやすく紹介する。

期間中は6号館1階智恵の樹前広場でポスター展示を行う他、昼休みに2階の教室で対面形式の日替わりセッションを実施する。週前半は、留学制度説明や、留学カウンセラーおよび英語学習アドバイザーによる留学への準備講座やTOEFLの説明、大学の留学制度を利用した学生の体験談、受入留学生の自大学紹介、留学と就職活動についてのセッションを行う。後半は、留学制度を活用した学生と直接話すことができる座談会を予定。会場や詳細は、LOYOLA掲示板やグローバル教育センター公式ツイッターで確認できる。問い合わせは2号館1階グローバル教育センターへ。

昨年の留学フェアの様子

留学フェアセッションスケジュール（予定）

| 日程 | 時間 | 内容 |
|---|---|---|
| 6/26(月) | 12:45 - 13:20 | グローバル化推進担当副学長挨拶<br>留学制度概要説明<br>留学カウンセラー・英語学習アドバイザーによる、留学への準備とTOEFLについて |
| 6/27(火) | 12:45 - 13:20 | グローバル教育センター長挨拶<br>交換留学について知ろう！～協定校からの留学生や留学を経験した先輩学生の声～ |
| 6/28(水) | ①12:45 - 13:20 | 短期プログラムを経験した先輩学生体験談 |
| | ②12:45 - 13:20 | 留学と就職活動 |
| 6/29(木) | 12:45 - 13:20 | 交換留学・短期プログラム経験者との座談会① |
| 6/30(金) | 12:45 - 13:20 | 交換留学・短期プログラム経験者との座談会② |

※最新のスケジュール・会場等はLOYOLA掲示板に掲載

# 受賞・採択

**学生**

■東京ビデオフェスティバル2023TVFアワード入賞（受賞日：3月20日）

中野ちさと（文新4）

銭晟揚（文新3）

北條あおい（文新3）

大﨑莉子（文新3）

古屋蓮（文新4）

倉持陽菜子（文新4）

**教員**

■マザック財団2022年度研究開発助成（採択日：3月15日）

田中秀岳准教授（機能創造理工学科）

■TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION H. MATHEWSON賞（受賞日：3月22日）

高井健一教授（機能創造理工学科）

井野川真梨（文新3）

熊西叶乃（文新3）